第23回市展

搬入・11月15日

第10回文化祭

10月23日～30日

文化・芸術に対する理解を深め、生活に潤いを――と、今年も十月二十三日（日）から三十日（日）までの八日間の日程で『南国市文化祭』が開かれます。

皆さんの出品、来場をお待ちしています。

■期間・十月二十三日（日）～三十日（日）まで。

○美術部門――十月二十三日～三十日、午前九時から午後五時まで。（書道、絵画、写真、漫画、生花、アートフラワー、工芸、編物手芸、陶芸、盆石盆画、茶道、俳句、短歌、盆栽）

○バザー・十月二十九日十時～

○芸能部門――十月二十三日（一時～四時半）と三十日（十時～四時半）の二日間。（剣詩舞、詩吟、日本舞踊、大正琴、箏曲、コーラス、謡曲、八ミリ上映（十月二十三日、十時～四時））

○記念講演――十月二十三日、十時半～十二時大篠公民館で。

◪期間・十一月二十日（日）～二十七日（日）までの八日間。

◪時間・午前九時～午後五時。ただし、初日の二十日は午前十時から開会式を行い開館。最終日の二十七日は午後四時閉館。

◪会場・市民体育館

一般の部

◪部門

洋画、日本画、書道、漫画、デザイン、彫塑工芸、写真

◪審査員

洋画＝筒井広道、日本画＝門谷南嶺、書道＝福原云外、漫画＝平山昌幸、デザイン＝森本忠彦、彫塑工芸＝井戸頴夫、写真＝畑山裕紀、高芝晴喜

◪出品資格

南国市在住、または勤務・在学する者および出身者。

◪出品点数

一人一部門五点以内

◪出品手数料

一点につき三百円

◪出品規格

写真…四ツ切り以上全倍までのワク張りに限る。

書道…ガラス張りは全紙以下の作品に限る。また、所定の用紙に楷書で釈文をそえること。

以上の他に、出品作品の規格、その他は各部門を通じて大きさ等は制限しないが、会場の都合や会場にふさわしくないものは制限する場合がある。

◪搬入

十一月十五日（火）、午前十時～午後七時まで、市民体育館で受付ける。

なお、「幼児・児童・生徒の部」については、各学校の担当のかたの指導を受けてください。

※市展について詳しいことは、教育委員会社会教育課（☎③211内線314）でおたずねください。

『文化を考える』講師（未定）

■会場・市民体育館

■審査・無審査

■批評会・十月三十日、十時から十二時まで展示会場において写真、絵画、陶芸部門の先生を招き批評会を行います。

■出品目録・目録、会費は九月三十日（金）までに提出、納入してください。

■作品搬入日・十月二十二日（土）十時～二時、市民体育館へ。

■作品搬出日・十月三十日（日）四時～五時。

■出品規定

(1)出品（出演）するかたは、必ず南国市文化推進協議会の会員であること（会員でないかたは、入会金五百円を納めると会員になれます）。

(2)絵画には必ず額縁を付け百号以内とする。写真には展示に必要な装置を付け大きさは四つ切以上。漫画は展示に必要な装置をつけ大きさはB2以内。書道の一般作品の大きさは画仙紙全紙までで、枠装、軸装は自由。児童生徒の作品は半紙大とし装丁は自由。

(3)会費（五百円）は各部門の責任者が取りまとめて納入すること。

(4)作品売却の場合は、売上げ額の一割を文推協に納入すること。

※文化祭についてのおたずねは、市民体育館☎④3498まで。

ご家庭で話し合って答えてください。答えは、この広報に出ています。

■もんだい・市民の代表を決める市議会議員選挙は、○月○日と決まりました。

■しめきり・9月15日

■おくり先・〒783　南国市大埇甲一三〇一　南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所部落名・氏名・年齢・職業を書いてください。

■賞品・特賞千円＝三人、残念賞（記念品）＝五人

第141回正解者発表（敬称略）

（応募総数39通）

■こたえ・(地)下(水)

■特賞・千円＝三人

別役とみお（古市）

徳橋進（大埇）

田中富士江（前浜）

■残念賞・記念品＝五人

内村理沙（後免町）坂本ちづ子（東崎）川島あかね（十市）荊公将夫（前浜）浜口高代（亀岩）

普及所から㉓

中国野菜の作り方

九月に入り、朝夕が次第に涼しさを増していき、家庭菜園では葉菜類の種まきの時期になりました。

最近、店先でもよく見かけられるようになった中国野菜を作ってはいかがですか。

◎パクチョイ

特性―体菜によく似た、濃緑の葉肉厚の葉柄で、耐暑性、耐寒性のある作りやすい野菜です。

作り方―菜園一坪あたり堆肥一〇㌔、苦土石灰五〇〇㌘、化成肥料六〇〇㌘を入れよく耕しておきます。

畝幅一二〇㌢に三～四本の溝を作り、条まきにし、種子がかくれる程度に土をかけ、たっぷり灌水しておきます。

発芽がそろったら混み合っている所を間引きし、さらに本葉五枚くらいのころ株間一〇㌢になるようにしますが、菜園では、間引き菜を収穫しながら株間を整えてゆけばよいと思います。

追肥は速効性の肥料を、坪あたり一〇〇㌘株間に施しておきます。

収穫―は種して四十～五十日、草丈一五㌢くらいが食べごろになります。

◎紅菜苔

特性―葉柄や花茎は紫紅色で、この蕾のついたトウを食用にし、春先の端境期野菜として利用します。

作り方―圃場の準備はパクチョイと同じでよいが、は種は三〇㌢間隔の点まき（一穴に五～七粒）とします。

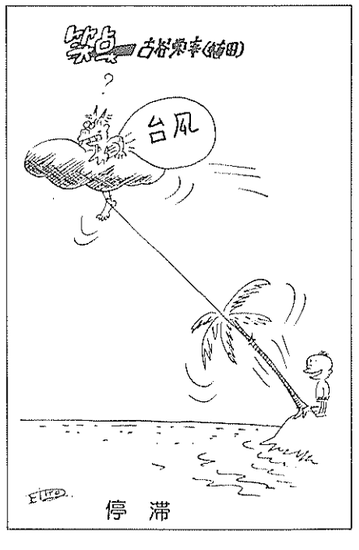
間引きは、本葉一～二枚の時一穴三本に、本葉四～五枚の時一本立ちにします。

追肥は間引きの時、株間や畝の肩にそれぞれ化成肥料を坪あたり一〇〇㌘施しておきます。

トウが立ちはじめたら、最初の二～三本は早めに取り除き、追肥を施してやると、茎の太い良い品質のトウが収穫できます。

収穫―花が一～二輪開いたころ、折りやすいところから折り取って利用してください。

［南国農業改良普及所］



短歌・川柳・俳句の投稿希望のかたへ

この欄への投稿は自由です。ただし、連続して投稿されても毎回掲載されるわけではありません。一度投稿されると、新しいかたは係の名簿に記入し、次回からは係から投稿の依頼を申し上げます。

選者はいませんが、季節や時期などに適当でない場合は掲載されないことがあります。

送り先…〒783　南国市大埇甲一三〇一　市役所内広報委員会まで。

南国歌壇

夏草の丈なす中に幾つもの
きりぎりす鳴く暑き日盛り
岡豊町　葛目治子

芭蕉葉のさゆらぎもせぬ熱帯夜
はずえに土用の蝉ひかれり
亀岩　島本　栄

背のびする海はネオンに招かれて
ほうようの波ビルに砕けり
領石　唐岩　勇

生きしまま焼かれし人の原爆忌
み霊慰め燈ろう流る
植野　中司愛子

兄の最後看とりくれたる人もあらむ　引揚げ名簿のがさじと見る
西島　門田美枝子

点滅のネオン影さすビル街を
ひと日の重さひきずりて行く
岡豊町　武樋信子

南国柳壇

氷柱が夢に出て来る熱帯夜
三畠　井沢正子

病床に句友の作さえ読めぬ我
十市　沢村鶴一

米価とは政治の道具にされるもの
後免町　隅田俊作

主人外泊飼い猫までが朝帰り
前浜　大原正明

短夜をより短かくす威銃
自昼の何かが起る黒揚羽
妹が増え嘘蝉を真夜鳴かす
白壁を巡りて夜の寺涼し
目盛りの参道一人来る遍路
片蔭に出物少し無人市

南国俳壇

島崎洸一（岩村句会）
瀧田紀男（〃）
和田ひでみ（〃）
竹内隆造（梵鐘句会）
林　光江（〃）
吉川　妙（〃）